



2024年12月24日

各 位

会社名 アンジェス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山田 英  
(コード：4563 東証グロース)  
問合せ先 広報・IRグループ  
<https://www.anges.co.jp/contact/>

## 長野県立こども病院と長野県における拡大新生児スクリーニング検査について契約を締結

当社は、長野県立こども病院（以下、「こども病院」という）と「アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー」（以下、「ACRL」\*1という）において、拡大新生児スクリーニング検査の受託を2025年1月より開始する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

希少遺伝性疾患検査を主目的とした衛生検査所ACRLでは、この度有償で希望者に実施する、早期診断・早期治療が極めて有効な希少遺伝性疾患10疾患\*2の拡大新生児スクリーニング検査に関して、こども病院から受託する契約を締結いたしました。

こども病院は長野県内の医療機関で実施している先天性代謝異常等の25疾患を対象とした新生児マススクリーニング検査を担っており、この検査をすべての新生児に対し公費で実施しています。また、2022年10月より脊髄性筋萎縮症と原発性免疫不全症のスクリーニングも実施しており、2024年10月からはこの検査も公費で賄われています。今回の契約締結により、これら検査に含まれない10疾患に対する検査についても有償で受診することが可能となります。

ACRLは、2021年より一般社団法人 希少疾患の医療と研究を推進する会（CReARID）\*3が主に首都圏で提供する拡大新生児スクリーニング（オプションスクリーニング）を受託してまいりましたが、本年より、埼玉県、群馬県、沖縄県などの自治体（またはその関連団体）から直接受託をしており、この度、長野県（こども病院）からも受託することとなりました。

当社では今後も、企業理念である「治療法がない疾病分野や難病、希少疾患などを対象にした革新的な遺伝子医薬の開発・実用化を通じて、人々の健康と希望にあふれた暮らしの実現に貢献する」に従い、この検査事業によって少しでも多くの方が希少疾患の早期発見、早期治療できる社会を目指してまいります。

当該契約締結による検査事業の収益は、今後発表いたします2024年12月期の決算短信において、2025年12月期の計画に含めてまいります。

以 上

\*1 ACRLとは：2021年4月1日よりCReARIDから拡大新生児スクリーニング検査である「オプションスクリーニング」を受託しており、2022年には年間約1万件、2023年には年間約2万件の検査を実施している衛生検査所です。

当検査所は、国内最多の検査項目数となる9疾患の拡大新生児スクリーニング検査が実施可能であることに加え、拡大新生児スクリーニング検査の一部疾患のみの検査を受託するなど、自治体等の要望に応じて検査を受託が出来る体制を整えています（2024年12月現在）。

- \* 2 対象の10疾患：ムコ多糖症I型、II型、IVA型、VI型、ポンペ病、ファブリー病（男児のみ）、ゴーシェ病、ニーマンピック病A/B型、クラッペ病、副腎白質副腎白質ジストロフィー（ALD：男児のみ）
- \* 3 CReARID：最新の検査技術を用いて、発症早期あるいは発症前の発見に寄与し、希少遺伝性疾患の診断に苦慮する一般の医師と専門医をつなぎ、早期診断と適切な治療選択を支援する活動を展開しています。  
<http://www.crearid.or.jp/>